

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表(1/4)

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所(重点的に実施する事業を記載)	⑤実施状況			⑥R1年度の主な事業内容(未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考
				未着手(予定年度)	実施中	完了			
重点施策1 活躍の場づくり (学びと遊びのまちへ)	地域課題を解決するための活動支援(市民活動・起業支援)	062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 現状・課題、及び施策の展開方向2 協働事業の推進		○		市民活動支援センターを運営し、相談業務、人材育成事業(6/9, 6/22, 7/27, 8/4犬山未来塾【ファシリテーションのノウハウとドゥハウ】)、市民活動交流フォーラム(2/23)を実施。市民活動団体の育成、中間支援案件のマッチングを行った。 また、従来からの市民活動に加え、地縁組織、企業、個人も含めた、多様な人材による社会的活動の支援・促進及び多様な主体の協働を推進する新たな拠点施設「犬山市協働プラザ」を上記センターに代わって設置するため、公募型プロポーザル方式による受託候補者の選定を実施した。	地域安全課	
		063 コミュニティ活動の支援	P71 現状・課題、及び施策の展開方向2 コミュニティ組織の育成		○		地域の課題解決支援事業として、前原台地域での買い物支援に関する事業を実施。住民有志の「買い物支援の会」、高齢者あんしん相談センタースタッフ等各回15名程度のワークショップを9回、また地元住民へのアンケートを1回実施し、課題の解決に向けた試行事業として移動販売の体験会を2回実施。移動販売の受け入れ継続に向けた協議を行う。あわせて、他の地域やほかの課題でも課題解決に取り組めるよう、プロセスの抽出を行う。	地域安全課	
		112 中小事業者の育成	P89 施策の展開方向3 中小事業者の育成		○		平成30年度に創設した産業振興補助金や商工会議所と連携した小規模事業者設備投資等補助金により、中小の事業者への支援に取り組んでいる。	産業課	
	感性を育む学びの場づくり(授業改善・犬山の特性を活かした学びのまち実現)	352 義務教育の充実	P183 施策の展開方向1 特色ある学校づくり		○		それぞれの学校が特色ある学校づくりを目指し、地域に根ざした学校経営を行っている。読解力向上を目指した授業づくりや読書量を増やすための「図書館改造計画」に取り組んでいる。	学校教育課	
		361 生涯学習機会の充実	P185 現状・課題、及び施策の展開方向2 次代を担う子どもや若者を対象とした事業の充実		○		●子ども大学 21講座を実施し市内小中学生が自然体験活動や伝統文化、農業体験を通じ、生きる力を育むことができた。 ●名古屋経済大学 オープンカレッジ 名古屋経済大学との連携事業として開催している。「～知を営む～名系で再発見！」をテーマに新しい分野へのチャレンジや学び直しをサポートした。	文化スポーツ課	
		381 歴史・文化財の理解と意識の高揚	P196 施策の展開方向1 犬山の歴史と文化財を知る・学ぶ機会の提供		○		市民総合大学歴史文化学部により次の3学科を実施した。 【市民総合大学歴史文化学部受講者数】 古代史学科(全4回 116名) 明治カルチャー史学科(全4回 70名) 祭り文化学科(全3回 31名)	歴史まちづくり課	
	「犬山で何かをしたい」人を応援(市民活動支援)	062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 施策の展開方向1 協働意識の向上と人材育成		○		集まったメンバーが立場を超えて自由に語り合い、対話から価値を生み出す創造的な語り場「フューチャーセッション@犬山」を計6回実施。犬山内外から20代～40代の男女が毎回20名程度参加。 また、取り組みを次年度につなげるためのファシリテーターを養成するため、「場リスタ@犬山 養成講座」を3回実施。毎回30名程度参加。	地域安全課	
	まちづくりの担い手育成(若者・女性・シニア)(市民活動支援)	062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 施策の展開方向1 協働意識の向上と人材育成		○		市内在住在勤在学で20代～40代の人による企画提案事業を対象とした未来の人材活躍補助金を交付。地場野菜や音楽、アートなど、犬山での新しいライフスタイルを提案するイベント「犬山マルシェ」の1事業を採択。	地域安全課	
	人材バンクの構築・運用と「人・モノ等」のマッチング支援(豊富な地域資源(人・モノ)の活用)	062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 施策の展開方向4 人材バンクの構築(活躍の場づくり)		○		犬山市地域資源バンク構築・運営事業を委託。今年度82件の人材及び団体の情報を収集し、情報検索サイトを運営。活用案件としての把握は46件、内登録者の派遣が14件。ネットワーク事業として「絆づくり交流会 in 城東～地域の人のつながりあつまれ!～」を開催(12/15)。人材のマッチングイベントとして2/23の市民活動交流フォーラムで登録者の交流会を開催。 市民活動の情報発信の場として、愛知北FMで市民団体の活動内容の紹介や会員募集、イベント案内を発信した。	地域安全課 企画広報課	

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表(2/4)

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所(重点的に実施する事業を記載)	⑤実施状況			⑥R1年度の主な事業内容(未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考
				未着手(予定年度)	実施中	完了			
重点施策2 産業の活性化 (商売繁盛のまちへ)	新たな交流拠点の形成(駅設置の可能性検討ほか公共交通の充実)	091 新たな交流拠点の形成	P82 基本施策9		○		H30年度新たな都市拠点及び交流エリア基本構想を策定し、R1年度に「道の駅エリア基本計画」策定した。	都市計画課 企画広報課 産業課 地域安全課	
	魅力ある商業地の整備	111 魅力ある商業地の整備	P87 目指す姿と目標指標、及び施策の展開方向1~3		○		犬山城下町まちづくり協会や犬山まちづくり株式会社などと連携した地域の特色を活かしたイベント等の実施により活性化を促した。犬山市特産品協会と連携し、市外で特産品のPRを行った。	産業課 企画広報課	
	地産地消を促進し犬山の特性を活かした施設誘致	104 地産地消の推進	P86 施策の展開方向2 地元農産物の消費促進		○		市内スーパーや飲食店での市内産農産物の取扱促進に努めた。	産業課	
	商業集積ラインの設定(買い物利便性向上)	111 魅力ある商業地の整備	P88 重点事業 幹線道路沿いへの商業施設の誘導		○		不動産事業者と意見交換を行い、情報の収集や提供を行い進出を促した。	産業課 企画広報課	
	企業誘致(工業団地の整備、雇用環境の向上)	122 工業用地の確保と企業誘致	P93 施策の展開方向1 工業用地の確保、及び重点事業 工業用地造成事業		○		企業や不動産事業者へ都市計画マスタープランで定める新たな産業用地(産業集積誘導エリア)の情報提供を行い、企業の進出が行われた。	産業課	
		141 雇用環境の向上	P99 施策の展開方向1 雇用の場の確保		○		企業の誘致、流出防止や設備投資への支援等により、企業の基盤強化支援を行った。	産業課	
	時代に合った農業の展開と活性化(農の新たな担い手育成)	102 農業経営の確立	P84 施策の展開方向2 農業の担い手育成		○		平成30年度に農業担い手施設整備等支援補助金制度を創設し、農業機械等の導入により生産性向上を図る農業者に対し補助を実施した。また、農地集積・集約化会議を開催し、担い手間のエリア調整を行うことで、農地集約の円滑化を図った。	産業課	
		104 地産地消の推進	P86 施策の展開方向1 農業生産者の育成		○		朝市や移動販売等の関係者等による意見交換会をR2.2に開催し、朝市での現状や課題を共有し、朝市同士の連携強化を図った。また、子ども大学では希望する小学生向けの農業講座を開設し、農業を身近に感じてもらい、栽培に関する技術と知識を身につける体験の場を提供した。	産業課	
	インバウンドに対応する体制の充実(観光施設間の連携等)	131 観光資源の整備・充実	P94 施策の展開方向3 観光地を結ぶ交通体系の整備		○		名鉄犬山ホテルと博物館明治村、野外博物館リトルワールドを結ぶ直行バスの運行をH30から実施し、令和元年8月末まで継続していたが、同月に名鉄犬山ホテルが閉鎖・建替えとなったため一時中断している。R2年度以降は、キャッスルパーキング内に各施設を結ぶ直行バスの拠点を検討する。平成31年3月から観光タクシーの営業を開始し、観光地を結ぶ交通体系を整えている。R2年3月以降はキャッスルパーキング内に観光タクシー乗り場を常設し、さらなる利便性の向上を図る。交通渋滞緩和については、キャッスルパーキング及び内田観光駐車場を効率的に案内できるような誘導體制を整えている。	観光交流課	
		132 観光宣伝・情報発信の充実	P97 施策の展開方向1 観光宣伝・情報発信の充実		○		観光情報の発信については、(一社)犬山市観光協会に委託している「犬山観光情報」でイベントや施設の情報など、鮮度の高い情報を随時更新できており、誘客に寄与している。インバウンド需要の取り込みについては、海外の旅行博や旅行会社への営業、ファミトリップ(海外旅行会社やインフルエンサーの招請する視察ツアー)を積極的に実施し、海外旅行者の誘客を進めている。しかし、令和2年2月以降、新型コロナウイルスの影響によりお城を始めとした公共施設が閉館、及び海外旅行者を誘客できない状況となっており、収束後の対応(営業活動)などを積極的に進めていく必要がある。	観光交流課	

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表(3/4)

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所(重点的に実施する事業を記載)	⑤実施状況			⑥R1年度の主な事業内容(未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考
				未着手(予定年度)	実施中	完了			
重点施策3 定住促進 (多様な暮らしができるまちへ)	既存ストックの活用(空き家、空き地、遊休農地、公共施設等)	281 眠る資源の活用(既存ストック活用)	P158 基本施策28		○		平成30年度に実施したサウンディング調査を参考に、空間利用が可能と思われる市有地を選定し、民間提案制度に基づく事業者提案を募集するスキームを構築中	経営改善課	
					○		現在空き家バンクを運用しながら、改修費の補助や奨励金制度を新設して、既存住宅のストック活用を図っている。	都市計画課	
					○		令和元年度から耕作放棄により荒れた農地を再生する取り組みを支援するため、荒廃農地等利活用促進事業補助金制度を創設し、農業委員会と連携し、解消活動に取り組んでいる。	産業課	
					○		平成30年度に総務省のモデル事業として、城下町周縁部及び丸山地区における駐車場シェアの普及啓発に取り組んだ。令和元年度も引き続き、市観光協会と連携して説明会を開催し、駐車場シェア普及啓発の取組を継続した。(2020年2月末現在で14件40台分の駐車場が登録。平成30年12月からの累計で716台の利用があった。)	企画広報課	
				○			2020年度からの協働プラザの運用の中で場所に関する情報収集を行う予定。	地域安全課	
	地域ごとの交流の場形成(交流の機会と場づくり)	063 コミュニティ活動の支援	P72 施策の展開方向3 地域の交流の場や機会形成の支援		○		コミュニティ推進地区助成金を交付し、地域での交流の場づくりを支援。	地域安全課	
	交通体系の充実(バス等公共交通の利便性向上)	312 バスの利便性の向上	P170 施策の展開方向3 公共交通ネットワークの形成、及び重点事業		○		栗栖・富岡線の一部路線変更やバス満員時の対応、パス券の販売など、利便性の向上を図る様々な施策に関する協議を調えた。(各施策の実施は令和2年度から)	地域安全課	
	子育て支援の充実(子どもを持つ喜びを)	173 子どもを育む環境整備	P113 施策の展開方向1~3		○		・ボランティア、地域団体と一緒にセンターまつり(年1~2回) ・地域団体との交流(年2回)・地域主催のまつりへ児童館としてブース参加、子どもクラブの発表参加(年1~2回) ・中学生体験事業4回(各中学校ごとに参加) ・各中学校にて生徒と母子の交流(年1回)	子ども未来課	
	地域で支えるまちづくり(高齢者・障害者福祉の充実)	163 地域包括ケア体制の確立	P107 施策の展開方向1 保健・医療・福祉サービスの連携の充実		○		・保健、医療、福祉サービスの連携をすることで、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられる体制づくりを進めます。 ・高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)に機能を充実させ、介護予防事業、総合相談事業、虐待防止・権利擁護業務など継続したサービスを実施します。	長寿社会課	
		182 障害者福祉サービスの充実	P118 施策の展開方向1 障害福祉サービスの充実		○		H30年度より設置している障害者基幹相談支援センターが、障害者の身近な相談支援機関として、また、地域の関係機関やサービス提供事業所と連携し、障害者が安心して地域で生活することができるよう、障害福祉サービスの利用に必要な支援を行っている。 H30年度からR1年度にかけて、民間で整備する障害児支援の地域の中核施設となる「児童発達支援センター」開設のための支援を行い、令和2年度に開設が決定している。	福祉課	
多様な住まい方の実現(町屋の保存活用、優良田園住宅制度の活用等)	321 暮らしの場・住まいの場の提供	P173 施策の展開方向1~3		○		令和元年度より優良田園制度を新設して、栗栖・今井の里山集落への定住促進を図っている。併せて既存の空き家の掘り起こしなども啓発しながら利活用を目指している。	都市計画課		
				○		犬山市伝統的建造物保存委員会の指導の下、歴史的建造物2件(高木家・旧小守家)の保存修理工事を支援した。	歴史まちづくり課		

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表(4/4)

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所 (重点的に実施する事業を記載)	⑤実施状況			⑥R1年度の主な事業内容 (未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考
				未着手 (予定年度)	実施中	完了			
重点施策3 定住促進 (多様な暮らし ができるまち へ)	効果的な情報発信(見せ方・伝え方の工夫)	043 シティプロモーション	P63 施策043 シティプロモーション		○		取材活動の強化による報道機関への情報提供を実施。また、平成30年度に市内外へ犬山市の魅力を伝えるために作成した冊子「いぬやまブック」を市HP用にて再編加工した上で公開し、市内外へ発信している。	企画広報課	
	災害に強いまちづくり(防災力の向上)	221 災害に強いまちづくり	P132 現状と課題、及び施策の展開方向1 都市施設の耐震化推進		○		令和元年度は富岡荒井線において、楽田番前地内の道路改良工事(未供用、L=100m)、道路予定地として765㎡の用地買収を実施した。	整備課	
					○		非常用発電機設置工事を実施。引き続き施設の総合的な防災力向上を踏まえて、ダウンサイジングも含め、対象施設の改修方法を検討中。	水道課	
					○		下水道管きよ重要路線の耐震化 L=2068m マンホールトイレ設置 N=5基	下水道課	
					○		災害時の協定締結(1件)や、近隣自治体、民間企業との意見交換・連携確認を実施した。また、地域住民や多様な団体との協働により実践的な防災訓練を実施した。	地域安全課	
		222 防災体制の充実	P133 施策の展開方向1、2		○		自主防災組織の立ち上げ支援、資機材買い替え補助を実施するとともに、地域の防災訓練において出前講座を行ったり、訓練内容の立案補助を行った。	地域安全課	
	223 防災意識の高揚と防災体制の育成強化	P135 現状・課題、及び施策の展開方向2 自主防災組織の育成		○		・実施計画に基づく財政計画を策定し、議会を含む全庁的な情報共有を行ったうえで、令和2年度予算を調製した。 ・財政健全化法による判断比率の分析と公表、新公会計制度を国の基準に則したものに変更した。	経営改善課		
財政運営の適正化	051 財政運営の適正化	P64 施策の展開方向1 計画的かつ効率的な財政運営		○					